

授業科目名	民法Ⅴ（契約法）	期別	後期	授業形態	講義
担当者名	藤村 賢訓	単位数	2	開講年次	1

授業科目の概要

民法の第3編「債権」第2章「契約」（521～696条）を対象とする講義科目である。民法が定める13の典型契約の基本的理解を基に、これを補充する特別法、判例法の内容について講義する。講義を通して、契約の要件・効果についての理解と共に、抽象論に陥りがちな民法総則や債権法全体の具体像の体得が可能となる。

2017年5月に民法（債権関係）改正（以下「改正民法」という）が成立し6月に公布され、改正民法は2020年4月の施行が予定されている。そのため、本授業では、改正民法の内容を前提にして授業を行う。

到達目標

民法典、特別法および判例法を通じて、この領域に関する法原則を、債権総論に規定される法原則との関連性を含めて確実に理解し、具体的な取引をめぐる紛争解決に際しての判断基準としての、契約法の基礎的知識を修得することができる。また、民法総則の法律行為論と契約との関係、契約によって生じる債権に係る債権総論との関連性を体系的に理解、整理することができる。

成績評価基準および方法

到達目標で示した内容を基準に、定期試験の結果を重視（70%）し、講義時に配布するミニツツペーパーや小テストの内容（15%）、講義中の質疑応答（15%）の内容を加味するという方法で総合的に成績を評価する。

テキストおよび参考文献

教科書：手島豊編『ユーリカ民法4 債権各論』（法律文化社、2018年）
2,900円＋税 ISBN：9784589039385

参考書：民法判例百選Ⅱ 債権 第8版（有斐閣、2018年）
定価 2,530円＋税 ISBN 9784641115385

参考書：加賀山茂『民法（債権関係）改正法案の〔現・新〕条文対照表〈条文番号整理案付〉』（信山社、2015年）
定価 2,200円＋税 ISBN 9784797270457

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

民法第1編「総則」、民法第3編「債権」第1章「総則」の内容を理解しておくことが望ましい。
講義レジュメを事前に配布し予習の範囲と程度を明示するので、テキストの該当部分を事前に熟読し、各自で必要な時間をかけて準備して講義に臨むこと。講義の際に配布するレジュメに復習用の項目を明示するので、それに従って各自で必要な時間をかけて講義で修得した知識の定着を図ること。
予習・復習の配分は受講生の裁量で、全体として講義時間の2～3倍程度を基準に適切に調整すること。

授業計画および内容等

第1回	契約の機能と類型	契約の種類と法的性質・典型契約・非典型契約、双務契約・片務契約、有償契約・無償契約、諾成契約・要物契約、要式契約、身分契約
第2回	契約の成立(1)	申込みと承諾、申込みの承諾適格、承諾の効力発生時期・契約の成立時期、契約交渉過程の責任
第3回	契約の成立(2)	特殊の契約成立（交叉申込、意思実現、契約の競争締結）、隔地者間の契約
第4回	契約と信義則	契約と信義則（契約締結過程・履行過程・履行終了後）、契約締結上の過失、反対給付の履行拒絶権（危険負担）、同時履行の抗弁権

第5回	契約の解除(1)	解除の種類、債務不履行による法定解除の要件、合意解除
第6回	契約の解除(2)	解除権の行使、法定解除の効果、その他の法定解除（担保責任を除く）
第7回	贈与、売買契約(1)	贈与と無償契約の成立・効力、売買の成立、売買の予約、売買の手付
第8回	売買契約(2)	売買の効果（売主の義務、買主の義務）、契約不適合（売買の担保責任）
第9回	消費貸借・使用貸借	消費貸借の成立、諾成的消費貸借、消費貸借の効果、使用貸借の成立、使用貸借の効果
第10回	賃貸借	賃貸借の成立、賃貸借の効果（貸主の義務、借主の義務、賃借権の法的性質）、信頼関係破壊の法理
第11回	賃貸借の特別法	借地借家法、農地法
第12回	雇用・請負	雇用に関する民法規定の適用範囲、請負（成立、効果、請負の担保責任）
第13回	委任・寄託	委任の成立・効果、寄託の種類・成立・効果
第14回	組合・終身定期金・和解	組合と社団、契約としての組合、終身定期金の現代的意義、和解と紛争解決
第15回	非典型契約	特殊の売買、継続的供給契約、契約自由の原則の例外－附合契約（約款取引）
関連 URL		
備考欄		
教科書と授業シラバスとの対応関係は、授業に際して配布するレジュメで予習および復習の要点を提示し、受講生の学習成果の確保を図る。教科書にない部分については、配布するレジュメ等で対応する。		